

令和2年度事業報告並びに収支決算承認に関する件

自 令和2年4月1日 ～ 至 令和3年3月31日

平成25年4月1日に「一般社団法人（非営利型）」へ移行したことに伴い、会の運営や事業活動に対して自主性・公益性・透明性がより強く求められることとなった。

令和2年度の事業については、事業計画に掲げた「基本方針」の基、会員企業の納税意識の一層の向上と企業経営の健全な発達等に資するため税制に関する提言や租税教育、社会福祉事業等を行った。

なお、新型コロナウイルス禍のため、全国大会（女性部会、青年部会も同様。）は中止となり、当会独自事業である親睦ゴルフコンペ、女性部会の視察研修旅行及び決算期別説明会等の事業は、残念ながら開催することが困難であった。

また、沼田税務署関係団体連絡協議会との連携のもと、税務行政の円滑な運営に協力することを目的にe-Tax・eLTA利用促進PR事業は、沼田市の納税用封筒を活用し展開した。

主な事業の概要は以下のとおり。

1 総務関係

○事務局の充実と運営に関する件について審議するとともに、理事会等により会員増強策等を検討した。

2 組織関係

○会員の増強活動については、年間を通じて取り組み、12月に「組織報告会」を開催したが、後継者不足による廃業や企業経営の沈滞等から脱会者が多く、現状の組織率確保に奔走した。

○会員の「身近にいる未加入法人に声をかけよう」を実践しつつ、役員一人が二人を勧誘することを目標とした。

○青年部会、女性部会の会員状況（令和3年3月末現在）

- ・青年部会 58名
- ・女性部会 25名

両部会は、県法連等開催の連絡協議会に代表を派遣し、広く交流を図りながら活発な活動を展開した。

3 研修関係（税務支援事業）

○四半期ごとに開催の「決算期別説明会」は全て中止し、年1回開催の「新設法人説明会」は開催することができた。

○例年、沼田税務署関係団体連絡協議会と協力して開催していた研修会については中止した。

○年末調整説明会は、中止となった。

○青年部会で開催している租税教室の講師養成研修は、中止したが、小学校3校で3回の租税教室を開催することができた。

4 税制関係（税の啓発・提言事業）

- 翌年度の改正に向けた税制改正要望全国大会は、中止された。
本会としては税制委員により沼田市長・同議長及び国会議員に対して要望活動を行った。
- 沼田税務署関係団体連絡協議会において「税を考える週間」、「確定申告の早期提出やe-Taxの普及拡大」にFMオゼでのPRに努めた。
- 租税教室の開催状況は、「沼田市立升形小学校」、「みなかみ町立新治小学校」、「みなかみ町立月夜野北小学校」、「利根沼田学校組合立利根商業高等学校」において開催した。
- 平成21年度より続いている「税の標語」について、本年も中学3年生を対象として募集を行った。
- 平成28年度より女性部会において実施している、小学校高学年を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」を開催し、「税の標語」と併せて表彰状を学校に届けた。

5 社会貢献活動

- 社会貢献活動として、沼田市社会福祉協議会にバスタオル200枚を寄贈し、女性部会もタオル200枚の寄贈を行った。

6 広報関係

- 会報誌の「法人ぬまた」及び沼田税務署管内の納税貯蓄組合・青色申告連合会と合同で「たにがわ」を発行するとともに、県法連発行の「法人群馬」、全法連発行の「税制改正のあらまし」・「ほうじん」等の配付により、会員に対する情報の提供を図った。
- 平成23年度より続いている沼田市の「納税通知書の封筒」に、「中学生による税の標語」の入賞作品を掲載し、本年も引き続き税の啓蒙・広報を図った。

7 厚生関係

- 会員の福利厚生制度として、「経営者大型保障制度」、「個人保障任意労災プラン」、「がん介護保険制度」等の優れた商品の周知を図り、制度の推進に努めた。
- 会員の健康管理に寄与するため利根沼田文化会館において精度の高い「生活習慣病健診」を実施した。

8 緒会議関係

- (1) 本会通常総会（出席者 27 名、委任状 404 名）
令和2年5月27日 ホテルベラヴィータ
- (2) 青年部会総会 令和2年7月21日 法師温泉長寿館
- (3) 女性部会理事会 令和2年10月9日 ホテルベラヴィータ
- (4) 本会理事会、厚生委員会及び組織報告会 令和2年12月4日 ホテルベラヴィータ
- (5) 女性部会理事会 令和3年2月9日 ホテルベラヴィータ
- (6) 青年部会役員会 令和3年3月29日 姫本